

いさーち

日立市教育研究所報 291号

平成31年4月16日発行

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

日立市教育研究所長 小池 洋一

教育研究所の事業についての紹介

所長 小池 洋一

近年、グローバル化の進展、人工知能の飛躍的進化など、社会が加速度的に変化し将来の予想が難しい時代になってきております。このような中、本市の学校教育の充実・発展に寄与するため、①教育課題についての先導的・実践的な調査研究、②教職員の資質向上のための研修、③児童生徒のための教育相談、④こども発達相談など、4つの事業を中心に、学校現場に対してきめ細かな支援に努めさせていただきます。

今年度の「調査研究に関する事業」では、新学習指導要領を見据えた今日的な教育課題に関する調査研究を実施し、小・中学校の教育活動がより円滑に推進できるよう取り組んでいきます。昨年度は、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続についての実践事例集」を作成し、各学校に配布させていただきました。ぜひ、校内研修等で活用していただきながら、先生方の参考資料として、積極的に利用していただきたいと考えております。

また、「教職員の研修に関する事業」では、本市の教育の充実・発展を目指して、教育実践上の課題解決のための研修と教育専門職としての資質・職能の向上が図られるような研修を予定しています。併せて、先生方が参加しやすくなるよう研修環境を整えていきますので、引き続き研修会への積極的な参加をお願いいたします。

「教育相談に関する事業」では、様々な悩みや不安を抱えている児童、生徒、保護者及び教職員等に対する教育相談を行い、不登校解消を目指しながら児童生徒への支援活動を進めていきます。併せて「ちゃれんじくらぶ多賀教室」に加え、昨年度より教育プラザ内に「ちゃれんじくらぶ日立教室」が開設され、利用者が年々増えてきております。今まで同様、各学校と連絡を取り合いながら、児童生徒の実態に応じた支援に努めさせていただきます。

「こども発達相談センターに関する事業」では、子どもの発達に関わる悩みの相談や心理検査、スキルの向上を目指した小集団活動（なかよし教室）、医療相談、幼稚園・保育園・認定こども園などへの巡回訪問を行い、すべての子どもたちが落ち着いた生活が送れるよう支援させていただきます。さらに、関係機関との連携が密に図られるように、情報の共有化にも努めていきます。

今年度も、教育研究所に関わる職員が一丸となって、各種事業に取り組んでまいりますので、各保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・特別支援学校をはじめ、各種関係機関のみなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



2019年度の主な事業内容

1 調査研究に関する事業

- (1) 教育課題解決のための専門的・技術的な調査研究
- (2) 幼児・児童生徒の学習・生活に関する意識や実態についての調査研究
- (3) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
- (4) 教育課題調査研究会議の設置
 - ア 調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
 - イ 本市教育の充実・発展を図る調査研究と報告書による学校や保護者への啓発

2 教職員の研修に関する事業

- (1) 職層や経験に応じた研修
- (2) 専門性を高める研修
- (3) 特別研修
- (4) 共催研修
 - ※「夏季教職員研修」については、広報誌「りさーち」をご覧ください。
(6月下旬ごろ発行予定)



[平成30年度研修会の様子]

3 教育相談に関する事業

- (1) 学校訪問相談
 - ア 面接相談 … 主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
 - イ 家庭訪問 … 不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
 - ウ 事例検討 … 生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (2) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の運営 [多賀教室：日立市立多賀図書館4階]
[日立教室：日立市教育プラザ3階]
- (3) 不登校対策支援事業
 - ア 体験活動の実施（野外活動、ハイキング等）
 - イ 保護者への支援（教育相談、家庭訪問、保護者会等）
 - ウ 不登校に関する研修会の開催

4 こども発達相談センターに関する事業

- (1) 所内相談 … センター内の相談室で教育相談員が対応する面接・電話相談
- (2) 巡回訪問 … 保育園・認定こども園・幼稚園に教育相談員が訪問
- (3) 医療相談 … センター内の相談室で小児科等の医師が対応する相談
- (4) 心理検査 … WISC・田中ビネー等の心理検査を実施
- (5) 小集団活動 … 少人数での継続相談（なかよし教室）の実施
- (6) 各種研修会 … 教職員・保育士・保護者・市民等を対象とした、発達障害に関する研修会の実施

※ 心理検査器具やこれまでの報告書、参考図書等については、貸し出しも行っております。お問い合わせください。



5 広報活動

- (1) 広報誌「りさーち」の発行
- (2) ホームページによる情報提供 (<http://www.city.hitachi.lg.jp/kyoken/>)

幼児教育と小学校教育の円滑な接続 実践事例集



幼児期から児童期にかけては、学びの基礎力を培う時期であり、連続性・一貫性のある教育を行う必要があります。

本市では、平成26年度に日立市保幼小連携検討ワーキンググループを立ち上げ、幼児教育と小学校教育の「段差」を低くし、より質の高い連携を目指して『笑顔をつなぐ 保幼小連携ハンドブック』を作成しました。この冊子は、平成27年度から市内全園、全小学校の教職員全員に配布しています。

また、平成28年度からは「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」を実施し、幼児教育指導員による講話、保幼小連携などに関する実践発表、近隣の園・小学校毎のグループ協議など、園と小学校の教職員が共に考え話し合う場を設けてきました。

現在、園や小学校では滑らかな接続に向けての具体的な取組が少しずつ着実に進められています。一

方で、連絡や日程調整等、どのように交流や連携を行えばよいか戸惑っているという園や小学校も少なくありません。

本冊子は、昨年8月実施の「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」に参加された日立市内の園や小学校を対象に調査を行い、実践事例集としてまとめたものです。御活用いただくことで、保幼小連携の充実が更に図られることを願っています。

【報告書から】

2 実践の紹介

(1) 子ども同士の交流

おもちゃ大会をしよう 【大沼小学校】

交流先 大沼幼稚園 すぎの子幼稚園

《ねらい》
小学生として、園児に対して思いやりをもって接することができる。

《実践内容》 時期：2月初旬
学区内の大沼幼稚園とすぎの子幼稚園の園児をおもちゃ大会に招待し、自分たちで作ったおもちゃの使い方を園児に教えたり、一緒に遊んだりする。

《成果や変容》
園児が分かりやすいように、おもちゃの使い方を絵に描いて教えたり、優しく手を添えて一緒に遊んだりすることができた。
園児は、小学生の説明をよく聞いて、楽しく活動に参加していた。

《実践の様子》
「よく見ていてね。」
「うん。」
「こうかな？」
「そうそう！上手だよ。」

＜実践例 子ども同士の交流＞

(2) 教職員間の交流

特別支援教育合同研修会 【日高小学校】

交流先 日高幼稚園 こどものいえ認定こども園 日高中学校

《ねらい》
特に個別の配慮が必要な児童に対して、園や中学校と連携し、児童の実態や効果的な支援方法等について共通理解を固め、切れ目のない支援につなげる。

《実践内容》 時期：第1回8月下旬 第2回10月上旬
専門家派遣事業を活用し、近隣の園、中学校の教職員を対象に、特別支援教育の合同研修会を実施した。
①アンガーマネジメント協会の菊池登茂子先生を講師に招き、「感情のコントロールが苦手な児童への理解と対応」についての講話を聞いて、グループ協議を行った。
②日高幼稚園の教職員に本校の授業参観をしてもらい、対象児童についてケース会議を行った。

《成果や変容》
発達障害等の児童に対する具体的な支援方法について学ぶことができ、園・小・中の教職員が児童への支援や交流学級との連携、保護者への支援等について、情報を共有することができた。
幼児教育施設から小学校へ、小学校から中学校へと切れ目なく円滑に支援の手立てをつなげていくことが、困り感をもつ児童へのよりよい支援にもつながっていくと実感できた。

＜実践例 教職員間の交流＞

園児との交流会 【坂本小学校】

交流先 南高野幼稚園 くじ保育園

《ねらい》
小学生として、園児を迎える心構えをもち、園児が小学校生活を楽しくするよう関わりができる。

《実践内容》 時期：10月中旬
近隣の南高野幼稚園とくじ保育園の園児を招待し、小学校の施設を紹介したり、グラウンドで一緒に遊んだりする。

《成果や変容》
小学校で学んだことを園児に紹介しようと、友達とこれまでの学習を振り返ったり、施設の確認をし合ったりしながら説明をしていた。
遊具で遊ぶ際に、園児がけがをしないように声をかけたり、危険がないように見守ったりするなど、小学生としての自覚が芽生え、優しさや危険意識をもって遊ぶ姿が見られた。

《実践の様子》
「一緒にやろうね。」
「高いー！」
「よかつかまってね！」

保育・授業参観 【会瀬幼稚園】

交流先 会瀬小学校 助川小学校 油織子小学校

《ねらい》
幼稚園の職員と小学校の教職員が相互に参観し、それぞれの教育や指導方法についての理解を図る。

《実践内容》
○小学校の授業参観 時期：5月下旬
事前に聞き取った授業のねらいをもとに参観し、給食の配膳の様子も参観する。
○幼稚園の保育参観 時期：10月下旬
園長から幼児教育について話をした後、保育参観をしてもらい、その場で保育内容や教師の支援、遊びの中の学びについて説明する。

《成果や変容》
小学校の授業や給食を参観したり、話を聞いたりしたことで、幼稚園で就学前に身につけさせたり、経験させたりすべきことが明らかになった。
幼児教育についての説明をした後、保育を参観してもらったことにより、「幼稚園生ってこんなことができるんだ」「小学1年生なのに赤ちゃん扱いをしているような気がする。」などの言葉が聞かれ、幼稚園での教育について理解を図ることができた。

《実践の様子》
「いらっしゃいませ！」

新任・転任相談員の紹介

今年度の新任相談員と、担当校を変更した相談員の紹介です。

<p>こども発達相談センター</p>	<p>《 <small>あだち すみこ</small> 足立 澄子 》 昨年 10 月から「こども発達相談センター」の相談員をさせていただき、半年が過ぎました。周りの方々に支えられなんとか慣れてきた次第です。今後も、保護者の方の気持ちに寄り添い、受容・共感を大切にしていきたいと思ひます。そして、お互いがすてきな出会いと感じられるように努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>こばやし むつみ</small> 小林 睦 》 今年度から「こども発達相談センター」の相談員をさせていただくことになりました小林睦と申します。不安の中来所するお子さんや心配や困り感をもつ保護者の方の気持ちに寄り添い、その思いをしっかりと受け止めていきたいと思ひます。微力ではありますが、悩みを抱えるお子さんや保護者の方、それぞれのご家族の主体性を尊重し、自信をもって日々の生活を送ることができるよう精一杯サポートさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>せきね あつこ</small> 関根 敦子 》 今年度から「こども発達相談センター」の相談員をさせていただくことになりました。お子さんや保護者の方の気持ちに寄り添いながら思いを受け止めて、自分らしく日々の生活を送ることができるよう努めていきたいと思ひています。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>学校訪問相談員</p>	<p>《 <small>しまだ まりこ</small> 嶋田 真理子 》 4 月から十王中学区を担当させていただくことになりました。初めての相談員で、頼りない面も多々あると思ひますが、児童生徒の皆さんに寄り添って、一緒に考えていけたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>さかもと まりこ</small> 坂本 真理子 》 今年度から、豊浦中学区を担当させていただくことになりました。学校の先生方と連携を図り、児童生徒、保護者の皆さんに寄り添った相談活動をすすめていきたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>かわい きょうこ</small> 河合 恭子 》 今年度、日高中学区を担当させていただくことになりました。毎日の生活の中で、悩みや不安をもつ児童生徒の皆さんの話に耳を傾け、それぞれの思いを受け止めて、一緒に考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>かわい ようこ</small> 川井 葉子 》 今年度、駒王中学区を担当させていただくことになりました。不安や心配を抱えている児童生徒の皆さんや保護者の方の困り感に寄り添い、一緒に考えていきたいと思ひます。また、先生方との連携を密にして努力したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>《 <small>やまだ ちえこ</small> 山田 知恵子 》 今年度から助川中学区を担当させていただくことになりました。悩みや不安をもつ児童生徒の皆さんや保護者の皆さんに寄り添い、思いを受け止めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

《 柴田 紀久子 》

今年度から、泉丘中学区を担当させていただくことになりました。児童生徒の皆さんの言葉に耳を傾け、保護者の皆さんに寄り添い、一緒に考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

新任教育研究所職員を紹介

事務局	<p>《 小池 洋一 》</p> <p>本年度、日立特別支援学校から教育研究所に異動してまいりました。現場の先生方に寄り添いながら、今日的な課題を踏まえた①調査研究②教職員研修③教育相談④こども発達相談センター等の各種事業の推進に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>《 久保田 鮎美 》</p> <p>本年度、日立市立日高中学校から教育研究所に異動してまいりました。主に調査研究に関すること、小集団活動に関することを担当します。今、自分ができることを一つずつ学び、関係機関をはじめ、多くの出会いを大切にしながら、皆様のお力になれるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

【2019年度 教育研究所職員】

所長 小池洋一 係長 池田勝 係長 野口純子
 指導主事 中岫由佳 指導主事 鈴木里佳 指導主事 久保田鮎美

【教育相談員】

《こども発達相談センター》

紺谷けい子（主任） 伊藤恵美子 大井志津香
 小澤基子 足立澄子 小田部文字 小林睦 関根敦子



《学校訪問相談》

※ 近隣の小学校にも訪問します。

嶋田真理子（十王中） 坂本真理子（豊浦中） 河合恭子（日高中）
 小川有香（滑川中） 塚本友子（平沢中・中里中）
 川井葉子（駒王中） 山田知恵子（助川中） 兼子友香（多賀中）
 豊田ゆかり（大久保中） 柴田紀久子（泉丘中） 牛渡美加（河原子中）
 山田加代子（台原中） 清野雅代（坂本中） 磯野清美（久慈中）

《適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」》

吉成 猛 鈴木君枝 《多賀教室》
 澤畠 明 杉本真里子 《日立教室》

編集後記

新年度がスタートしました。新しい出会いに子どもたちも、先生方も、期待を高めていることでしょう。

教育研究所では、今年度も子どもたちが安心して園・学校生活を送れるようにするための相談活動や、先生方の実践に生かせるような研修会の実施に努めてまいります。先生方の日々の教育活動の一助になれば幸いです。今年度も教育研究所の事業への御支援、御協力をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。 (久保田)